

## 第6学年 国語科学習指導案

児童 6年1組 男17名 女17名  
指導者 小山文明

### 文章構成の効果を考え、平和についての意見文を書こう

中心学習材「平和のとりでを築く」（光村図書6年下）

#### <育てたい主となる能力>

◎自分の考えを明確に表現するため、  
文章全体の構成の効果を考えること。  
(書イ)

#### <主となる言語活動>

◎筆者の考えを受け止め、自分の考えを  
明確にするための文章構成の効果を考  
え、平和についての意見文を書く。

#### 1 子どもと単元について

##### (1) 学習者観

子どもたちは、6月の「ガイドブックを作ろう」の学習で、相手や目的を意識しながら必要な情報を集め、書く事柄を選択・整理し、図表や写真を取り込んだ割り付けを工夫したり、文章全体の構成を考えながら効果的に書いたりする言語活動を行った。また、「みんなで生きる町」の学習では、ユニバーサルデザインを取り入れた公共施設や設備について調べ、多くの読み手に自分の意見が伝わるように構成を工夫し、提案文を書くという言語活動を行った。日常的には、行事における自分の思いを川柳に表したり、日記や条件に沿った作文を書いたりする活動を行っている。

これらの学習を通して、目的に応じた様々な表現様式を理解するとともに、様式に応じて文章を書いたり、表現の方法を工夫したりすることができるようになってきた。また、自分の思いや考えを伝えるために、図表や写真などの効果的な割り付けを考えたり、必要な事例や根拠を明らかにしながら書いたりする力が身に付いてきている。

##### (2) 学習材観

本単元「文章構成の効果を考え、平和についての意見文を書こう」は、事実を意見を区別しながら筆者の考えをとらえ、それに対して自分の考えをもつことと、自分の考えを明確に表現するために必要な資料を選び、それを伝えるために、分かりやすく構成して意見文を書くことをねらいとする。

第1学習材「平和のとりでを築く」は、「原爆ドームに対する筆者の思い」「原爆ドームがたどった歴史」「世界遺産への道のり」「筆者の伝えたい思い」という分かりやすい文章構成になっており、筆者の考えをとらえやすくなっている。筆者の考えを丁寧に読み取ることによって、それに対する自分の考えをもつことができる学習材である。

第2学習材「自分の考えを発信しよう／インターネットと学習」は、「平和」というテーマにかかわる多様な材料を集め、自分なりの考えをもち、発信していく学習ができる学習材である。

このように、筆者の考えを受けて、自分の考えが相手に伝わるように文章を書くことを通して、事実と考え・意見の区別やつながりを意識できるようになり、効果的に自分の考えをまとめたり文章の構成を考えたりする学習に適した学習材である。

### (3) 学習指導観

指導に当たっては、以下の点に留意していく。

- ① 第1学習材の第1次では、単元のねらいを知り、学習計画を立てながら見通しと課題意識をもたせる。
- ② 第2次では、文章構成や文末表現の工夫に着目し、叙述の内容を的確に押さえながら平和に対する筆者の思いを読み取る。
- ③ 第3次では、読み取った内容について自分の意見を書く活動を取り入れ、自分の考えをまとめる。
- ④ 第2学習材の第1次では、書く活動の見通しと課題意識をもたせる。
- ⑤ 第2次では、要旨を決めて、必要な資料を集める。
- ⑥ 第3次では、自分の伝えたいテーマに基づいて、構成を工夫しながら意見文を書く。
- ⑦ 第4次では、意見交流会を行う。

### (4) 教科等の学習や日常生活への活用例

- ・ 事実や意見を区別して読み取る活動（国語）
- ・ 事実と考えを明確にして、文章構成を工夫しながら自分の意見を書く活動（国語・総合的な学習の時間）

## 2 学習指導目標及び評価規準

	学習指導目標	評価規準
<b>国語への 関心・意欲・態度</b>	◎ 筆者が伝えたいことを受け止めて自分なりの考えをもち、「平和」についてさらに考えるために調べたり、話し合ったり、書いたりしようとする。	・ 筆者の考えを受け止めて自分なりの考えをもつために、進んで資料を調べたり、自分の考えを書きまとめたりしようとしている。
<b>書く能力</b>	◎ 「平和」について自分の考えを明確に表現するために、効果的な文章の構成を考えることができる。（書 イ） ○ 事実と感想、意見などを区別して書いたり、対立する意見を取り上げて反論を述べたりすることができる。（書 ウ）	・ テーマに沿って集めた情報の中から必要なものを選択し、自分の考えに取り入れて、自分の考えが読み手に伝わるように構成を考えている。 ・ 自分の考えを伝えるために、具体的な事例と意見を分かりやすく書いたり、対立する意見に対して明確に反論したりしている。
<b>読む能力</b>	◎ 書かれている内容について、事象と筆者の意見、伝えたいこととの関係を押さえ、自分の考えをもちながら読むことができる。（読 エ）	・ 書かれている内容について、事象と筆者の意見、伝えたいこととの関係を押さえ、平和についての自分の考えをもちながら読んでいる。
<b>言語についての知識 ・ 理解・技能</b>	◎ 文章全体の大まかな構成と部分の役割を理解することができる。（イ（キ））	・ 自分の意見を明確に表現するために、様々な組立てがあることを理解している。

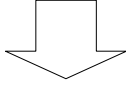
3 学習指導計画（全9時間）

【主な段階】

【主な学習活動】

【主な活用】

「平和のとりでを築く」を学習し、平和に対する自分の考えをもつ。

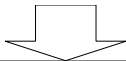


第1次  
学習の見通しと課題意識をもつ。  
(1時間)

①学習の見通しと課題意識をもつ。

<評価> \_\_\_\_\_

①学習の流れや付けたい力が分かり課題意識をもっている。《発言・ノート》



第2次  
自分の伝えたいテーマについて資料を集める。  
(2時間)

②自分の考えを伝える方法や調べ方を知る。

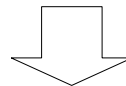
③テーマを決めて必要な資料を集める。

<評価> \_\_\_\_\_

②何を、誰に、どのような方法で伝えるのか、自分の意図に沿って適切に選択している。  
《発言・ノート》

③図書資料やインターネット資料などを活用して、必要な情報を集めている。《収集資料》

「平和のとりでを築く」で学んだ筆者の見方・考え方を活用してテーマを決め、資料を集める。



第3次  
自分の伝えたいテーマに基づいて意見文を書く。  
(5時間)

④収集した情報を整理し、要旨を確定する。

⑤構成の三つの型について理解する。

⑥必要な資料を選び、意見文の構成を考える。(本時)

⑦構成表を基に、意見文を書く。

⑧書き上げた意見文の見直しをして清書する。

<評価> \_\_\_\_\_

④自分のテーマに沿って収集した情報を整理し、要旨を確定している。《資料・要旨》

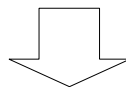
⑤三つの型の効果について理解している。  
《発言・ノート》

⑥自分の考えを明確に伝えるための資料を基に、組み立てを工夫して構成表を作っている。  
《構成表・ノート》

⑦事実と意見・考えを区別して、自分の考えが伝わりやすい文章を書いている。《意見文》

⑧自分の考えを伝えるために、効果的な表現になっているかを見直している。《意見文》

「みんなで生きる町」で学んだ「尾括型」の構成と、本单元の中で習得した「頭括型」と「双括型」の三つの型のいずれかを活用して意見文にまとめる。



第4次  
意見交流会を行う。  
(1時間)

⑨自分達の親と意見交流会を行い、意見や感想を交流して自分の考えを深める。

<評価> \_\_\_\_\_

⑨友達の意見文を聞き、平和についての考えを深め発信している。《態度・ノート》

#### 4 本時の指導

(1) ねらい

要旨（自分の考え）を明確に伝えるために、組立てを工夫して構成表を作ることができる。

(2) 既習の知識・技能を活用する言語活動

「みんなで生きる町」や文集「もりおか」の意見文から学んだ文章構成の知識・技能を生かし、自分の意見文の構成を考える。

(3) 展開

段階	学習活動・学習内容	形態	学習指導上の留意点
つかむ	1 前時までの学習を想起する。 (1分)	全	○前時の学習を振り返り、意見文には「頭括型」「尾括型」「双括型」の三つの型があることを確認する。
	2 本時の学習課題を確認する。 (1分) 自分の考えを明確に伝えるための効果的な構成を考えよう。	全	○意見文を書くための構成表を作ることを確認し、本時の学習の見通しをもつことができるようにする。
	3 構成表の作り方を確かめる。 (2分) 構成表作りのポイント ①「頭括型」「尾括型」「双括型」の効果を考えながらどこに要旨をおくかを検討する。 ②別の考えや反対意見を取り入れる	全	「文章の構成には、どのようなパターンがありましたか。」 ○文集「もりおか」や教師作成のモデルを見ながら、「頭括型」「尾括型」「双括型」のそれぞれの効果を確認し、イメージをもつことができるようにする。 ○自分の考えと反対の意見については、反論も有効であることを確認する。
構成表を作る	4 構成表を作ること (25分)	個	「三つの型で構成表を作り、自分の考えを明確に表すことができる構成表はどれかを検討しましょう。」 ○「頭括型」「尾括型」「双括型」の三つの型で、必要な材料を構成表に整理していく。 ○構成表に配置していく材料にずれがないようにつながりを意識させながら構成を考えさせる。  A 「頭括型」「尾括型」「双括型」の効果を理解して、対立する意見を取り入れながら構成表を作っている。 B 「頭括型」「尾括型」「双括型」の効果を理解して構成表を作っている。 Cへの支援 ・自分の要旨を確認する。 ・要旨を伝える上で必要な事実を意見や感想を確認する。 ・どのような順序で構成していけばよいかを話し合い、位置づける。
	5 構成表を読み合い、検討する (10分) (1) 友達の構成表を読み合い、を交流する。  (2) 自分の構成表の見直しをする。	ペア  個	「それぞれの構成表の長所や短所について考えましょう。」 ○構成表を読み合い、明確に考えが伝わってくる構成表はどれかを根拠を明らかにしながら検討する。 ○友達の構成表から自分の構成表も振り返る場とする。  「自分の構成表を見直しましょう。」 ○交流を基に、考えを明確に伝えるためのポイントを意識させながら、構成表の見直しができるようにする。

ま と め る	6 学習を振り返る。 (1) 学習について, 自己評価 をする。 (5分)	個	○本時の学習を振り返り, 学習への取り組み方や分かったこと を確かめることができるようにする。
	7 次時の学習内容を確認する。 (1分)	全	「次時の学習内容を確認しましょう。」